

議会だより

2012年 2 月 北海道中川郡豊頃町議会発行



12月定例会

第4回定例会は、12月8日から開会され、補正予算など8議案を、いずれも原案どおり可決、15日に一般質問等を行なって閉会しました。



会計名	補正額	総額
一般会計	7千466万円	45億7千273万円
国民健康保険会計	30万円	6億2千536万円
介護保険会計	△385万円	3億2千713万円
簡易水道会計	△4千602万円	2億1千780万円
公共下水道会計	83万円	2億2千054万円

補正予算の主なもの

◆財政調整基金積立に
5千万円

◆地上デジタルテレビ
放送局管理に256万円

茂岩末広町難視聴区域のTVH局
対策

◆地域密着型老人ホーム
建設費補助金追加
500万円

茂岩栄町に建設中の老人ホーム建
設に補助
総額3億6千100万円に

◆子ども手当支給費減額
642万円

制度改正による減額

◆有害鳥獣駆除費に
1千644万円

鹿の隠れ家になっている十勝川堤
防内の柳伐採及び処理等に

◆プレミアム付商品券
発行事業に 214万円

好評なプレミアム付商品券を追加
発行

◆道路橋梁維持補修費に
515万円

町道、橋梁の補修

◆大津地区築山整備工事に
242万円

嵩上げ工事及び避難道の整備

表示の金額は、一万円未満を四捨
五入しています。



選挙管理委員及び補充員の選挙

平成23年12月23日に任期満了となる、豊頃町選挙管理委員と同補充員の選挙を氏名推薦により行い、次の方が当選されました。
なお、任期は平成27年12月22日までです。

▼選挙管理委員

- 片岡 富雄氏 (再) 豊頃旭町
- 小野寺眞太郎氏 (再) 礼作別
- 青田 悦夫氏 (再) 二宮
- 川村 和也氏 (再) 大津元町

▼選挙管理委員補充員

- 鳥宮 慶法氏 (再) 茂岩本町
- 神谷 秀秋氏 (再) 北栄
- 前田 マリ子氏 (再) 豊頃旭町
- 前田 精一氏 (再) 二宮

人権擁護委員

9月定例会に諮問され、議会において推薦を決定した人権擁護委員に内山 寛氏 (中央新町)、鳥宮慶法氏 (茂岩本町) が就任することになりました。任期は、平成24年1月1日から平成26年12月31日です。

条例改正等

▼豊頃町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

平成23年度の人事院勧告に基づき、本町においても改定を行うもので、職員の給与と表を平均0・23%引き下げます。

▼豊頃町税条例等の一部を改正する条例

地方税法の一部を改正する法律、地方税法施行令の一部を改正する政令等が公布されたことに伴い改正す

るもので、過料を現行3万円から10万円に引き上げ、寄付金税額控除の適用下限額を現行5千円から2千円に引き下げ、肉用牛売却による農業所得に係る免税措置について、免税対象牛の売却頭数要件の上限を現行年間2千頭から年間1千500頭に、免税対象牛の対象範囲から売却価格80万円以上 (現行100万円以上) の交雑種を除外する。

※過料とは

条例に違反したときに課せられる反則金

意見書

- ▶平成24年度農業予算編成及び税制改正に関する意見書
- ▶森林・林業・木材産業政策に関する意見書
- ▶TPP協定交渉参加に向けた関係国との協議開始に関する意見書

いずれも原案のとおり可決され、関係省庁に提出されました。

豊頃中学校生徒が議会傍聴

豊頃中学校3年生33名が、12月15日開催された第4回定例会を傍聴しました。



豊中3年生議会を傍聴

この傍聴は、社会科公民の授業の一環として行われたもので、津波防災対策や、TPPに関する一般質問が行われ、生徒たちは、議員と理事者のやりとりを熱心にメモをとりながら、真剣に聞き入っていました。30分間の傍聴後、議場を退席する際には、議場に一礼をする生徒も多く、傍聴のマナーがきちんと守られていました。

一般質問

中学校の武道の必修を どう取り組むのか

大谷 友則議員

Q 24年度から中学校で武道が必修となるが、その目的は？

A 菅原教育長
礼を重んじ、相手を尊重するなど、我が国の文化や伝統により、豊かな人間形成を目的にしている。

Q どのような武道に取り組むのか？

A 菅原教育長
また、その準備は？
剣道を導入予定。用具については、本年度で30組を町で用意する。

Q 指導体制は？

A 菅原教育長
現在、教職員の研修が実施されている。また、町内の指導者にも協力

していただく。



第42回豊頃町少年剣道大会

大津地区の津波防災対策は

杉野 好行議員

Q 高台の無い大津地区で安全な避難をどう考えるか？

A 宮口町長
ソフト面では、ハザードマップの作成。ハード面では築山等の避難場所と避難路の整備を、国・道の協力を得ながら進めている。

Q 初めての住民説明会の参加の状況は？

A 宮口町長
関係団体長への周知だったため、

一般住民の参加がなく、今後の説明会には多くの住民が参加できるように工夫と検討をしていく。

Q ハザードマップの内容は？

A 宮口町長
地震・津波が発生したとき、どのような災害状況になるか現況の地図上に示すもので、今年中に完成予定。年明けに、議会・地域住民に内容を説明する予定。



大津地区に整備中の築山

Q 今後、津波に対する防災対策をどの様に進めていくのか？

A 宮口町長
津波などの緊急時に迅速な避難が出来るよう、地域の方と話し合いな

がら、ハザードマップを基本に防災訓練を実施。ハード面では、国・道と協議をしながら、一日も早く避難路を整備していく。

TPP参加による本町への影響は

藤田 博規議員

Q TPPに参加した場合、本町への影響は？

A 宮口町長
本町の農業は壊滅的な状況になることが予測される。

Q 農産物以外にどのような影響が考えられるか？

A 宮口町長
農産物の運送、加工など、大きな影響があると思うが、町レベルでは、試算が困難。

Q 生産者が安心して暮らせる環境が必要。今後の産業振興策は？

A 宮口町長
自治体での対策は不可能。関係団体と連携を取りながら、粘り強く対応していく。一次産業が中心の本町としては、これらの産業が発展する様、振興策を関係団体と協議していく。

委員会レポート

総務文教常任委員会で11月18日に、「児童福祉施設及び教育施設における防災対策について」所管事務調査を行いました。

児童福祉施設及び教育施設における防災対策について、現況と課題について調査を実施した。
 (1) 児童福祉施設(こどもプラザ)の調査



茂岩保育所避難訓練

ア 防災計画・訓練の実施状況
 火災や地震を想定して、有事の際に安全で速やかに避難ができるよう、年間計画を作成している。

さらに防災訓練は、5月から毎月1回、火災訓練、地震訓練、地震火災訓練と内容を変更しながら実施し、更に5歳児は年1回豊頃消防署にて幼年消防クラブ集合訓練を実施し、延べ年12回の防災訓練を実施している。防災訓練を多く開催することで、理解度の低い低年齢の児童にも体感で理解できるようにしている。

天候や季節を考慮して屋外へ避難可能な場合は園庭を、屋外へ避難することが出来ない場合は体育館をそれぞれ避難先として訓練を実施している。

また、今後、災害時以外の事故等も含め危機的状況が発生した場合、全ての入所児童を保護者に安全かつ確実に引き渡すことを目的とした危機管理マニュアルの作成も検討している。

イ 課題

0歳児及び1歳児等低年齢の児童については、言葉では的確に指示が

伝わらないため、訓練を繰り返し実施することで体感的に理解をさせていく必要がある一方、繰り返し訓練を実施することで、児童が訓練慣れし、「しゃべる」「走る」などの問題行動が発生する弊害もでてくる。

(2) 教育施設(各小中学校)の調査
 ア 防災計画・訓練の実施状況



豊頃小学校避難訓練

(ア) 豊頃小学校
 火災、地震、不審者侵入等あらゆる災害を想定し、全児童の生命の安全保護を目的とし消防計画を作成している。

訓練は、地震時、不審者侵入時、火災時をそれぞれ想定し、年1回、延べ年3回実施している。避難時には「押さない」「走らない」「しゃべらない」「等避難の際の正しい行動や避難の方法などの習慣化を図り、安全で速やかに避難できるよう訓練を行っている。また、不審者侵入想定には警察署、火災想定には消防署の指導・協力を受けている。

(イ) 大津小学校
 火災その他の非常災害を未然に防止するため、防災管理計画を作成している。



大津小学校着衣水泳訓練

防災訓練は、消防署の協力により火災想定訓練、大津地域づくり協議会の協力により地震津波想定訓練をそれぞれ年1回実施、その他に警察署の協力により不審者から身を守るための指導を年2回、海上保安署の協力により着衣水泳を通して、水難事故から身を守る訓練を年1回、延べ年5回実施している。また、避難時には、「押さない」「走らない」「しゃべらない」「もどらない」を励行する様指導している。

(ウ) 豊頃中学校

非常災害の発生に対し、沈着・冷静・迅速な行動と人命の安全を図り、非常時への対応を身につけることを目的に、学校安全計画並びに避難訓練・防災教室実施計画を作成している。

防災訓練は、地震により火災発生を想定した訓練を年1回実施している。避難時には、落ち着いて行動し、教師の指示に従うこと、「押さない、走らない、しゃべらない」の指導を徹底している。訓練以外に、防災教育講演会を年1

回実施している。

以上のとおり各学校とも防災管理計画等を作成して、消防署、警察署の指導を受けて、年数回火災、地震・津波、不審者侵入を想定した各種訓練を実施している。



豊頃中学校防災教育講演会

イ 課題

児童生徒が登校している時間帯の地震、津波等自然災害発生時においては、保護者も避難施設に避難している可能性が高く、通常の連絡方法では、情報の伝達が困難になると予想されることから、児童生徒の避難や安否状況を学校から保護者に対する的確、かつ迅速に連絡できる体制の整備が必要である。

(3) まとめ

調査した児童福祉施設(こどもプラザ)及び教育施設(各小中学校)とも、防災計画が整備され、防災訓練、施設内外の防災機器点検も適切に実施されている。また各学校における防災訓練の実施回数は異なるが大津小学校での地域づくり協議会や海上保安署などの協力による「津波」を想定した訓練や「着衣水泳体験」など、地域特性を取り入れた訓練を実施するなどの特徴がみられた。

また、委員から

ア 訓練は各施設内で完了していることから、災害対策本部との連携や保護者等との連絡体制などの点についても防災計画の中に明記

イ 児童福祉施設において、2階から避難する際の階段の手すりの改善
ウ 各施設は、地域住民の避難施設でもあることから、町職員、教職員の防災に対する研修が必要
などの意見が出された。

◎今後の予定

〔3月上旬〕 第1回定例会

〔10月〕

20日 十勝議長会主催議員研修

28日 札幌豊頃会

〔11月〕

5日 東京豊頃会

15～17日 全国議長大会

18日 総務文教常任委員会(所管事務調査)

〔12月〕

2日 議会運営委員会

8日 第4回定例会(1日目)

(補正予算、その他)

総務文教常任委員会

産業厚生常任委員会

15日 第4回定例会(2日目)

(一般質問、その他)

会議の詳細は 会議録で

定例会や臨時会などの会議の内容は、会議録で詳細に記録されています。ご覧になりたい方は、町ホームページを閲覧されるか、議会事務局へお問い合わせください。また、議会だよりの感想もお待ちしております。TEL 015-574-2222 FAX 015-574-3955 (議会事務局直通)

広報とよころ

議会だより

▽委員会レポート▽議会日誌

役場だより